

大学番号：私017

注3

[令和2年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

東北工業大学 工学部 環境応用化学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東北工業大学  
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ダイガクムキョク キョウガクセイユチョウ  
大学事務局 教務学生課長  
メグロ ユウジ  
目黒 裕二

電話番号 022-305-3160

（夜間） 022-305-3300

F A X 022-305-3163

e-mail gakumu@tohtech.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 工学部

<環境応用化学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 東北工業大学

## (2) 大学名

東北工業大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒982-8577

宮城県仙台市太白区八木山香澄町35番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヒグチ タツオ) 樋口 龍雄 (平成28年4月)		
学長	(コンノ ヒロシ) 今野 弘 (平成28年4月)		
学部長	(コバヤシ マサキ) 小林 正樹 (令和2年4月)		
学科長等	(ヤマダ カズヒロ) 山田 一裕 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 環境応用化学科 学士(工学)	工学関係	4年	65人	- 年次人	260人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	65人 ( - ) [ - ]	65人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.15 倍	- 倍	
志願者数	397 ( - ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
受験者数	374 ( - ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
合格者数	294 ( - ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
B 入学者数	75 ( - ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.15										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	76 [ 0 ] 0	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	※他学科からの転学科1名含む
2年次	/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次	/		/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
4年次	/		/		/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
計	76 [ 0 ] 0	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	人	人	平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	76人	0人	平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0人	0人	
合計		0人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{76} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<工学部 環境応用化学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
地域・文化・社会	表象文化論	1前	2								1
	現代社会論	1前	2								1
	現代メディア論	2前	2								1
	環境問題とエコロジー	2前	2			1					
	市民と法	2後	2								1
	暮らしと心理学	2後	2								1
	科学思想史	2後	2								1
	東北文化史	2後	2								1
	市民と政治	3前	2								1
	産業社会と心理学	3前	2								1
	産業社会と倫理	3前	2								1
	情報社会の経済	3後	2								1
	日本国憲法	3後	2								1
	現代の哲学	4前	2								1
	ライフ・キャリアデザイン論Ⅰ	2前	2								1
	ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ	3前	2								1
	職業指導(工業)	3前	2								2
	情報社会とモラル	3前	2								1
	情報と職業	3後	2								1
	工業概論	3前	2								1
フランスの文化と言葉	1後	2								1	
ドイツの文化と言葉	1後	2								1	
韓国の文化と言葉	1後	2								1	
中国の文化と言葉	1後	2								1	
教養科目	スタディスキルⅠ	1前	1								1
	スタディスキルⅡ	1後	1								1
	プレゼンテーション	1後	1								1
	ビジネスマナー	3後	1								1
	英語ⅠA	1前	1								2
	英語ⅠB	1後	1								2
	英語ⅡA	2前	1								2
	英語ⅡB	2後	1								2
	英会話A	1前	1								1
	英会話B	1後	1								1
資格英語A	2前	1								1	
資格英語B	2後	1								1	
心と体の健康	健康・運動科学実習Ⅰ	1前	1								6
	健康・運動科学実習Ⅱ	1後	1								5
	スポーツ科学実習	2前	1								9
学際	特別課外活動Ⅰ	1前-4後	1								
	特別課外活動Ⅱ	1前-4後	1								
	特別課外活動Ⅲ	1前-4後	2								
	特別課外活動Ⅳ	1前-4後	2								
	他大学等教養科目群	1後-4前	4								
小計(44科目)	-	6	67	0	0	0	0	0	0	0	36

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
地域・文化・社会	表象文化論	1前	2								1
	現代社会論	1前	2								1
	現代メディア論	2前	2								1
	環境問題とエコロジー	2前	2			1					
	市民と法	2後	2								1
	暮らしと心理学	2後	2								1
	科学思想史	2後	2								1
	東北文化史	2後	2								1
	市民と政治	3前	2								1
	産業社会と心理学	3前	2								1
	産業社会と倫理	3前	2								1
	情報社会の経済	3後	2								1
	日本国憲法	3後	2								1
	現代の哲学	4前	2								1
	ライフ・キャリアデザイン論Ⅰ	2前	2								1
	ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ	3前	2								1
	職業指導(工業)	3前	2								2
	情報社会とモラル	3前	2								1
	情報と職業	3後	2								1
	工業概論	3前	2								1
フランスの文化と言葉	1後	2								1	
ドイツの文化と言葉	1後	2								1	
韓国の文化と言葉	1後	2								1	
中国の文化と言葉	1後	2								1	
教養科目	スタディスキルⅠ	1前	1								1
	スタディスキルⅡ	1後	1								1
	プレゼンテーション	1後	1								1
	ビジネスマナー	3後	1								1
	英語ⅠA	1前	1								2
	英語ⅠB	1後	1								2
	英語ⅡA	2前	1								2
	英語ⅡB	2後	1								2
	英会話A	1前	1								1
	英会話B	1後	1								1
資格英語A	2前	1								1	
資格英語B	2後	1								1	
心と体の健康	健康・運動科学実習Ⅰ	1前	1								6
	健康・運動科学実習Ⅱ	1後	1								5
	スポーツ科学実習	2前	1								9
学際	特別課外活動Ⅰ	1前-4後	1								
	特別課外活動Ⅱ	1前-4後	1								
	特別課外活動Ⅲ	1前-4後	2								
	特別課外活動Ⅳ	1前-4後	2								
	他大学等教養科目群	1後-4前	4								
小計(44科目)	-	6	67	0	0	0	0	0	0	0	37

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	数学基礎	1前	2								1	
	物理基礎	1前	2								1	
	生物基礎	1前	2				1				1	
	情報リテラシー	1前	2						1			
	化学基礎	1前	2								1	
	工業化学概論	1前	2						1			
	循環型社会形成論	1前	2	2		1						1
	微分積分学Ⅰ	1後	2			1						
	物理学Ⅰ	1後	2			1						
	科学リテラシー	1後	2			2			1			
	物理化学Ⅰ	1後	2			1						
	有機化学	1後	2			1						
	分析化学Ⅰ	1後	2			1						
	化学工学	1後	2			1						
	環境マネジメント	1後		2		1						
	地球環境とエネルギー	1後		2					1			
	環境応用化学セミナー	1後	1			5	3		1			
	微分積分学Ⅱ	2前		2		1						
	物理学Ⅱ	2前		2		1						
	物理化学Ⅱ	2前		2							1	
	高分子化学	2前	2			1						
	無機化学	2前	2				1					
	分析化学Ⅱ	2前	2			1						
	分析化学実験	2前	2			1	1					
	地球環境科学基礎	2前		2			1					
	大気環境工学	2前		2		2						
	線形代数と微分方程式	2後		2		1						
	環境化学(※)	2後		2		1						
	表面化学(※)	2後		2		1						
	有機合成化学(※)	2後		2		1						
	熱力学(※)	2後		2		1						
	物理化学実験	2後	2			1	1					
	地域環境調査法及び同演習	2後		3		1	1					1
	水環境工学	2後		2		1						
	錯体化学(※)	3前		2			1					
	計測工学(※)	3前		2		1						
	固体・光化学(※)	3前		2		1	1					
	触媒化学(※)	3前		2			1					
	化学数学Ⅰ	3前	2			1						
	応用化学実験	3前	2			1	1					
地域環境調査実習	3前		2		1	1						
土壌環境工学	3前		2			1						
生化学(※)	3後		2							1		
電気化学(※)	3後		2			1						
機能材料(※)	3後		2		1							
有機・無機材料(※)	3後		2			1				1		
化学数学Ⅱ及び同演習	3後	3			1							
緑地環境工学	3後		2			1						
環境応用化学研修Ⅰ	3後	1			5	3						
CAD技術入門(※)	4前		2					1				
放射化学(※)	4前		2		1							
資源循環とライフサイクルアセスメント	4前		2			1	1					
環境応用化学研修Ⅱ	4前	3			5	3						
環境応用化学研修Ⅲ	4後	3			5	3						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	数学基礎	1前	2									2
	物理基礎	1前	2									2
	生物基礎	1前	2				1					0
	情報リテラシー	1前	2							1		
	化学基礎	1前	2									2
	工業化学概論	1前	2						1			
	循環型社会形成論	1前	2	2		1						1
	微分積分学Ⅰ	1後	2			1						
	物理学Ⅰ	1後	2			1						
	科学リテラシー	1後	2			2			1			
	物理化学Ⅰ	1後	2			1			1			
	有機化学	1後	2			1						
	分析化学Ⅰ	1後	2			1						
	化学工学	1後	2			1						
	環境マネジメント	1後		2		1						
	地球環境とエネルギー	1後		2						1		
	環境応用化学セミナー	1後	1			5	3			0		
	微分積分学Ⅱ	2前		2		1						
	物理学Ⅱ	2前		2		1						
	物理化学Ⅱ	2前		2							1	
	高分子化学	2前	2			1						
	無機化学	2前	2				1					
	分析化学Ⅱ	2前	2			1						
	分析化学実験	2前	2			1	1					
	地球環境科学基礎	2前		2			1					
	大気環境工学	2前		2		2						
	線形代数と微分方程式	2後		2		1						
	環境化学(※)	2後		2		1						
	表面化学(※)	2後		2		1						
	有機合成化学(※)	2後		2		1						
	熱力学(※)	2後		2		1						
	物理化学実験	2後	2			1	1					
	地域環境調査法及び同演習	2後		3		1	1					1
	水環境工学	2後		2		1						
	錯体化学(※)	3前		2			1		1			
	計測工学(※)	3前		2		1						
	固体・光化学(※)	3前		2		1	1					
	触媒化学(※)	3前		2			1					
	化学数学Ⅰ	3前	2			1						
	応用化学実験	3前	2			1	1					
地域環境調査実習	3前		2		1	1						
土壌環境工学	3前		2			1						
生化学(※)	3後		2							1		
電気化学(※)	3後		2			1						
機能材料(※)	3後		2		1							
有機・無機材料(※)	3後		2			1				1		
化学数学Ⅱ及び同演習	3後	3			1							
緑地環境工学	3後		2			1						
環境応用化学研修Ⅰ	3後	1			5	3						
CAD技術入門(※)	4前		2						1			
放射化学(※)	4前		2		1							
資源循環とライフサイクルアセスメント	4前		2			1	1					
環境応用化学研修Ⅱ	4前	3			5	3						
環境応用化学研修Ⅲ	4後	3			5	3						



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	環境応用化学特別課外活動Ⅰ	1前-4後	1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅱ	1前-4後	1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅲ	1前-4後	1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅳ	1前-4後	2								
	環境応用化学特別課外活動Ⅴ	1前-4後	2								
	環境応用化学特別課外活動Ⅵ	1前-4後	2								
	他学科開講科目群	1後-4後	4								
	他大学開講科目群	1後-4後	4								
小計(62科目)	-	51	76	0	5	3	0	1	0	9	
合計(106科目)	-	57	143	0	5	3	0	1	0	45	
卒業要件及び履修方法											
教養教育科目必修6単位を含む24単位以上、専門教育科目必修51単位を含む100単位以上、合計124単位以上修得のこと。 ただし、※1の科目の中から合計12単位以上を必ず修得すること。 (履修科目の登録の上限:24単位(1セメスター))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	環境応用化学特別課外活動Ⅰ	1前-4後	1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅱ	1前-4後	1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅲ	1前-4後	1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅳ	1前-4後	2								
	環境応用化学特別課外活動Ⅴ	1前-4後	2								
	環境応用化学特別課外活動Ⅵ	1前-4後	2								
	他学科開講科目群	1後-4後	4								
	他大学開講科目群	1後-4後	4								
小計(62科目)	-	51	76	0	5	3	0	1	0	10	
合計(106科目)	-	57	143	0	5	3	0	1	0	47	
卒業要件及び履修方法											
教養教育科目必修6単位を含む24単位以上、専門教育科目必修51単位を含む100単位以上、合計124単位以上修得のこと。 ただし、※1の科目の中から合計12単位以上を必ず修得すること。 (履修科目の登録の上限:24単位(1セメスター))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和2年度】**

- ・クラス分けを行い、よりきめ細やかな指導を行うため、『数学基礎』の専任教員等の配置を、「兼任教員1名」から「兼任教員2名」に変更。
- ・クラス分けを行い、よりきめ細やかな指導を行うため、『物理基礎』の専任教員等の配置を、「兼任教員1名」から「兼任教員2名」に変更。
- ・兼任教員が就任を辞退したため、『生物基礎』の専任教員等の配置を、「准教授1名、兼任教員1名」から「准教授1名」に変更。
- ・クラス分けを行い、よりきめ細やかな指導を行うため、『化学基礎』の専任教員等の配置を、「兼任教員1名」から「兼任教員2名」に変更。
- ・授業形態を単独からオムニバス方式に変更したため、『工業化学概論』の専任教員等の配置を、「助教1名」から「教授4名、准教授3名、助教1名」に変更。
- ・教員の担当授業回数を一部変更したため、『環境応用化学セミナー』の専任教員等の配置から、「助教1名」を削除。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

(工学部環境応用化学科)

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
31 科目	75 科目	0 科目	106 科目	31 科目 [ 0 ]	75 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	106 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{106} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	借入面積：85,222㎡ (借用期間：20年間)		
	校舎敷地	135,492 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	135,492 ㎡			
	運動場用地	59,037 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	59,037 ㎡			
	小 計	194,529 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	194,529 ㎡			
	そ の 他	86,844 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	86,844 ㎡			
	合 計	281,373 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	281,373 ㎡			
(2) 校 舎		専 用 77,056.87 ㎡ ( 70,929.87 ㎡)	共 用 0 ㎡ ( 0 ㎡)	共用する他の学校等の専用 0 ㎡ ( 0 ㎡)	計 77,056.87 ㎡ ( 70,929.87 ㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	42 48 室	演 習 室 5 19 室	実験実習室 23 195 室	情報処理学習施設 4 17 室 (補助職員 2 人)	語学学習施設 0 室 (補助職員 - 人)	AC対象学部等の数値に修正 大学全体	
	新設学部等の名称				室 数			
(4) 専任教員研究室	工学部 環境応用化学科				9 室			
(5) 新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での算出が 不能のため大学全体  令和元年度に棚卸を行い、 図書資産の見直し等を行ったことにより冊数等が申請時より増減している。	
	工学部 環境応用化学科	242,568 [55,814] 229,914 [50,576]  (242,188 [55,739]) (-229,334 [50,476])	2,251 [1,043] 2,541 [901]  2,251 [1,043] 2,541 [901]	1,680 [1,670] 206 [498]  1,680 [1,670] 206 [498]	3,284 3,279  ( 3,264 ) (-3,259)	-  ( - )		
	計	242,568 [55,814] 229,914 [50,576]  (242,188 [55,739]) (-229,334 [50,476])	2,251 [1,043] 2,541 [901]  2,251 [1,043] 2,541 [901]	1,680 [1,670] 206 [498]  1,680 [1,670] 206 [498]	3,284 3,279  ( 3,264 ) (-3,259)	-  ( - )		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	2,977.09 ㎡		410 席		260,000 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	3,576.71 ㎡		野球場 2面		室内野球練習場			
			テニスコート 5面		フットサルコート 2面			
			武道場・剣道場		弓道場			
アーチェリー場								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	433 千円	433 千円	図書購入費	1,000 千円	800 千円	0 千円
	共 同 研 究 費 等	5,400 千円	5,400 千円	設備購入費	4,500 千円	3,000 千円	3,000 千円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,550 千円	1,310 千円	1,320 千円	1,330 千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、資金運用収入、手数料収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東北工業大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
【AC対象学部等】											
工学部										宮城県仙台市太白区 八木山香澄町35番1号	令和2年度設置届出 定員変更 (▲15)
環境応用化学科	4	65	0	260	学士 (工学)	1.15	1.15	令和2	令和2		
工学部										宮城県仙台市太白区 八木山香澄町35番1号	
電気電子工学科	4	120	0	480	学士 (工学)	1.13	1.21		昭和39		
情報通信工学科	4	120	0	480	学士 (工学)	1.17	1.18		昭和39	同上	
建築学科	4	-	-	-		-	-		昭和41	同上	令和2年度学生募集停止
都市マシ <sup>ン</sup> メント学科	4	80	0	320	学士 (工学)	1.34	1.26		昭和42	同上	
環境工 <sup>学</sup> 科	4	-	-	-		-	-		平成24	同上	令和2年度学生募集停止
建築学部										宮城県仙台市太白区 八木山香澄町35番1号	令和2年度設置届出 定員変更 (15)
建築学科	4	135	0	540	学士 (建築学)	1.19	1.19	令和2	令和2		
ライフデザイン学部										宮城県仙台市太白区	
産業デザイン学科	4	80	0	320	学士 (デザイン)	1.20	1.17		平成20	ニツ沢6番	令和2年度名称変更
生活デザイン学科	4	80	0	320	学士 (ライフデザイン)	1.21	1.15		平成20	同上	令和2年度名称変更
経営コミュニケーション学科	4	80	0	320	学士 (経営コミュニケーション)	1.23	1.16		平成20	同上	
大学全体	-	760	0	3,040	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	東北工業大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次 人	人		倍	倍			
工学研究科										宮城県仙台市太白区 八木山香澄町35番1号
博士(前期)課程										
電子工学専攻	2	5	0	10	修士 (工学)	0.50	0.60		平成5	同上
通信工学専攻	2	5	0	10	修士 (工学)	0.30	0.20		平成4	同上
建築学専攻	2	5	0	10	修士 (工学)	1.70	1.80		平成4	同上
土木工学専攻	2	5	0	10	修士 (工学)	0.40	0.40		平成4	同上
環境情報工学専攻	2	5	0	10	修士 (工学)	0.70	1.00		平成15	同上
博士(後期)課程										
電子工学専攻	3	2	0	6	博士 (工学)	0.50	1.50		平成7	同上
通信工学専攻	3	2	0	6	博士 (工学)	0.00	0.00		平成6	同上
建築学専攻	3	2	0	6	博士 (工学)	0.17	0.00		平成6	同上
土木工学専攻	3	2	0	6	博士 (工学)	0.17	0.00		平成7	同上
環境情報工学専攻	3	2	0	6	博士 (工学)	0.17	0.50		平成15	同上
ライフデザイン学研究科										宮城県仙台市太白区 二ツ沢6番
博士(前期)課程										
デザイン工学専攻	2	5	0	10	修士 (デザイン工学)	0.40	0.60		平成24	同上
博士(後期)課程										
デザイン工学専攻	3	2	0	6	博士 (デザイン工学)	0.00	0.00		平成24	同上
大学院全体	-	42	0	96	-	-	-	-	-	-

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の

入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

### <工学部 環境応用化学科>

#### (1) -① 担当教員表

##### 【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丸尾 容子 (57) <令和2年4月> 博士(工学)
		環境応用化学セミナー 分析化学Ⅱ 表面化学 物理化学実験 計測工学 固体・光化学 機能材料 環境応用化学研修Ⅰ 放射化学 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ
専	教授 (学科長)	山田 一裕 (55) <令和2年4月> 博士(工学)
		循環型社会形成論 環境応用化学セミナー 科学リテラシー 環境マネジメント 大気環境工学 地域環境調査法及び同演習 水環境工学 地域環境調査実習 環境応用化学研修Ⅰ 資源循環とライフサイクルアセスメント 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ
専	教授	穴澤 正宏 (54) <令和2年4月> 博士(理学)
		微分積分学Ⅰ 物理学Ⅰ 環境応用化学セミナー 微分積分学Ⅱ 物理学Ⅱ 線形代数と微分方程式 熱力学 環境応用化学研修Ⅰ 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ

##### 【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丸尾 容子 (58) <令和2年4月> 博士(工学)
		<b>工業化学概論</b> 環境応用化学セミナー 分析化学Ⅱ 表面化学 物理化学実験 計測工学 固体・光化学 機能材料 環境応用化学研修Ⅰ 放射化学 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ
専	教授 (学科長)	山田 一裕 (56) <令和2年4月> 博士(工学)
		<b>工業化学概論</b> 循環型社会形成論 環境応用化学セミナー 科学リテラシー 環境マネジメント 大気環境工学 地域環境調査法及び同演習 水環境工学 地域環境調査実習 環境応用化学研修Ⅰ 資源循環とライフサイクルアセスメント 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ
専	教授	穴澤 正宏 (55) <令和2年4月> 博士(理学)
		微分積分学Ⅰ 物理学Ⅰ 環境応用化学セミナー 微分積分学Ⅱ 物理学Ⅱ 線形代数と微分方程式 熱力学 環境応用化学研修Ⅰ 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 善之 (53) <令和2年4月> 博士(工学)
		化学工学 環境応用化学セミナー 大気環境工学 有機合成化学 化学数学Ⅰ 応用化学実験 化学数学Ⅱ及び同演習 環境応用化学研修Ⅰ 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ
専	教授	内田 美穂 (52) <令和2年4月> 博士(工学)
		科学リテラシー 有機化学 分析化学Ⅰ 環境応用化学セミナー 高分子化学 分析化学実験 環境化学 環境応用化学研修Ⅰ 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ
専	准教授	加藤 善大 (47) <令和2年4月> 博士(工学)
		環境応用化学セミナー 物理化学Ⅰ 無機化学 応用化学実験 電気化学 有機・無機材料 環境応用化学研修Ⅰ 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ
専	准教授	多田 美香 (44) <令和2年4月> 博士(工学)
		環境応用化学セミナー 分析化学実験 物理化学実験 錯体化学 固体・光化学 触媒化学 環境応用化学研修Ⅰ 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 善之 (54) <令和2年4月> 博士(工学)
		<b>工業化学概論</b> 化学工学 環境応用化学セミナー 大気環境工学 有機合成化学 化学数学Ⅰ 応用化学実験 化学数学Ⅱ及び同演習 環境応用化学研修Ⅰ 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ
専	教授	内田 美穂 (53) <令和2年4月> 博士(工学)
		<b>工業化学概論</b> 科学リテラシー 有機化学 分析化学Ⅰ 環境応用化学セミナー 高分子化学 分析化学実験 環境化学 環境応用化学研修Ⅰ 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ
専	准教授	加藤 善大 (48) <令和2年4月> 博士(工学)
		<b>工業化学概論</b> 環境応用化学セミナー 物理化学Ⅰ 無機化学 応用化学実験 電気化学 有機・無機材料 環境応用化学研修Ⅰ 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ
専	准教授	多田 美香 (45) <令和2年4月> 博士(工学)
		<b>工業化学概論</b> 環境応用化学セミナー 分析化学実験 物理化学実験 錯体化学 固体・光化学 触媒化学 環境応用化学研修Ⅰ 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐野 哲也 (41) ＜令和2年4月＞ 博士(環境学)
		生物基礎 環境応用化学セミナー 地球環境科学基礎 地域環境調査法及び同演習 土壌環境工学 地域環境調査実習 緑地環境工学 環境応用化学研修Ⅰ 資源循環とリサイクルアセスメント 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ 環境問題とエコロジー
専	助教	野澤 壽一 (54) ＜令和2年4月＞ 工学士
		工業化学概論 情報リテラシー 科学リテラシー 地球環境とエネルギー 環境応用化学セミナー CAD技術入門
兼任	教授	葛西 重信 (59) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		物理化学Ⅱ
兼任	講師	齋藤 章 (63) ＜令和2年4月＞ 理学士
		数学基礎
兼任	講師	志貴 一元 (63) ＜令和2年4月＞ 理学士、文学修士
		物理基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐野 哲也 (42) ＜令和2年4月＞ 博士(環境学)
		<b>工業化学概論</b> 生物基礎 環境応用化学セミナー 地球環境科学基礎 地域環境調査法及び同演習 土壌環境工学 地域環境調査実習 緑地環境工学 環境応用化学研修Ⅰ 資源循環とリサイクルアセスメント 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ 環境問題とエコロジー
専	助教	野澤 壽一 (55) ＜令和2年4月＞ 工学士
		工業化学概論 情報リテラシー 科学リテラシー 地球環境とエネルギー CAD技術入門
兼任	教授	葛西 重信 (60) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		物理化学Ⅱ
兼任	講師	齋藤 章 (64) ＜令和2年4月＞ 理学士
		<b>化学基礎</b>
兼任	講師	<b>青山 純</b> (60) ＜令和2年4月＞ 教育学士
		<b>数学基礎</b>
兼任	講師	<b>竹内 透</b> (60) ＜令和2年4月＞ 理学士
		<b>数学基礎</b>
兼任	講師	志貴 一元 (64) ＜令和2年4月＞ 理学士、文学修士
		物理基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	瀬谷 和夫 (61) <令和2年4月> 工学修士
		化学基礎
兼任	講師	劉 庭秀 (51) <令和2年4月> 博士(都市・地域計画)
		循環型社会形成論
兼任	講師	是常 知美 (42) <令和2年4月> 博士(環境学)
		生物基礎
兼任	講師	藤岡 健司 (45) <令和3年4月> 修士(農学)
		地域環境調査法及び同演習
兼任	講師	井上 久美 (47) <令和4年4月> 博士(学術)
		生化学
兼任	講師	鈴木 鋭二 (38) <令和4年4月> 博士(理学)
		有機・無機材料
兼任	講師	河内 聡子 (37) <令和2年4月> 博士(文学)
		表象文化論 現代メディア論 東北文化史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	瀬谷 和夫 (62) <令和2年4月> 工学修士
		化学基礎 物理基礎
兼任	講師	劉 庭秀 (52) <令和2年4月> 博士(都市・地域計画)
		循環型社会形成論
兼任	講師	藤岡 健司 (46) <令和3年4月> 修士(農学)
		地域環境調査法及び同演習
兼任	講師	井上 久美 (48) <令和4年4月> 博士(学術)
		生化学
兼任	講師	鈴木 鋭二 (39) <令和4年4月> 博士(理学)
		有機・無機材料
兼任	講師	河内 聡子 (38) <令和2年4月> 博士(文学)
		表象文化論 東北文化史
兼任	准教授	大木 葉子 (50) <令和2年4月> 博士(文学)
		現代メディア論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	牛渡 亮 (36) <令和2年4月> 博士(文学)
		現代社会論
兼任	准教授	片山 文雄 (46) <令和3年4月> 博士(法学)
		市民と法 市民と政治 日本国憲法 情報社会とモラル
兼任	教授	小川 和久 (56) <令和3年4月> 学術修士
		暮らしと心理学 産業社会と心理学 職業指導(工業)
兼任	准教授	中島 夏子 (40) <令和4年4月> 修士(教育学)
		職業指導(工業)
兼任	講師	野家 伸也 (66) <令和3年4月> 博士(文学)
		科学思想史 産業社会と倫理 現代の哲学
兼任	講師	舛谷 謙二 (63) <令和4年4月> 経済学修士
		情報社会の経済
兼任	講師	阿部 登志子 (60) <令和3年4月> 文学士
		ライフ・キャリアデザイン論Ⅰ ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ
兼任	講師	佐藤 亨 (65) <令和4年4月> 商学士
		情報と職業

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	牛渡 亮 (37) <令和2年4月> 博士(文学)
		現代社会論
兼任	准教授	片山 文雄 (47) <令和3年4月> 博士(法学)
		市民と法 市民と政治 日本国憲法 情報社会とモラル
兼任	教授	小川 和久 (57) <令和3年4月> 学術修士
		暮らしと心理学 産業社会と心理学 職業指導(工業)
兼任	准教授	中島 夏子 (41) <令和4年4月> 修士(教育学)
		職業指導(工業)
兼任	講師	野家 伸也 (67) <令和3年4月> 博士(文学)
		科学思想史 産業社会と倫理 現代の哲学
兼任	講師	舛谷 謙二 (64) <令和4年4月> 経済学修士
		情報社会の経済
兼任	講師	阿部 登志子 (61) <令和3年4月> 文学士
		ライフ・キャリアデザイン論Ⅰ ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ
兼任	講師	佐藤 亨 (66) <令和4年4月> 商学士
		情報と職業

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	萩野 元彦 (61) <令和4年4月> 工学士
		工業概論
兼任	講師	玉田 優花子 (26) <令和2年4月> 修士(文学)
		フランスの文化と言葉
兼任	講師	嶋崎 順子 (50) <令和2年4月> 博士(文学)
		ドイツの文化と言葉
兼任	講師	黄 孝善 (52) <令和2年4月> 博士(文学)
		韓国の文化と言葉
兼任	講師	徐 麗 (49) <令和2年4月> 修士(教育学)
		中国の文化と言葉
兼任	准教授	高橋 秀太郎 (44) <令和2年4月> 博士(文学)
		スタディスキルⅠ スタディスキルⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	萩野 元彦 (62) <令和4年4月> 工学士
		工業概論
兼任	講師	玉田 優花子 (27) <令和2年4月> 修士(文学)
		フランスの文化と言葉
兼任	講師	松崎 裕人 (53) <令和2年4月> 修士(文学)
		ドイツの文化と言葉
兼任	講師	黄 孝善 (53) <令和2年4月> 博士(文学)
		韓国の文化と言葉
兼任	講師	佐藤 祐李愛 (36) <令和2年4月> 学士(社会福祉学)
		中国の文化と言葉
兼任	准教授	高橋 秀太郎 (45) <令和2年4月> 博士(文学)
		スタディスキルⅠ スタディスキルⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 光弘 (58) <令和2年4月> 工学士
		プレゼンテーション
兼任	講師	浅野 純子 (59) <令和4年4月> 短期大学卒
		ビジネスマナー
兼任	教授	高橋 哲徳 (52) <令和2年4月> 文学修士
		英語ⅠA 英語ⅠB 資格英語A
兼任	准教授	鈴木 淳 (44) <令和2年4月> 博士(文学)
		英語ⅠA 英語ⅠB 資格英語B
兼任	講師	徳永 慎也 (34) <令和3年4月> 修士(国際文化)
		英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	青木 愛美 (28) <令和3年4月> 修士(英文学)
		英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	Craig MacDonald (46) <令和2年4月> 修士(教育学)
		英会話A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 光弘 (59) <令和2年4月> 工学士
		プレゼンテーション
兼任	講師	浅野 純子 (60) <令和4年4月> 短期大学卒
		ビジネスマナー
兼任	教授	高橋 哲徳 (53) <令和2年4月> 文学修士
		英語ⅠA 英語ⅠB 資格英語A
兼任	准教授	鈴木 淳 (45) <令和2年4月> 博士(文学)
		英語ⅠA 英語ⅠB 資格英語B
兼任	講師	徳永 慎也 (35) <令和3年4月> 修士(国際文化)
		英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	青木 愛美 (29) <令和3年4月> 修士(英文学)
		英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	Diego Dardon (32) <令和2年4月> 修士(国際文化)
		英会話A

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	Simon Daniel Cooke (47) ＜令和2年4月＞ 修士(応用言語学)
		英会話B
兼任	准教授	本田 春彦 (40) ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		健康・運動科学実習 I 健康・運動科学実習 II スポーツ科学実習
兼任	講師	松原 悟 (61) ＜令和2年4月＞ 体育学士
		健康・運動科学実習 I 健康・運動科学実習 II
兼任	講師	河西 敏幸 (51) ＜令和3年4月＞ 博士(障害科学)
		スポーツ科学実習
兼任	講師	池田 晃一 (57) ＜令和2年4月＞ 体育学修士
		健康・運動科学実習 I 健康・運動科学実習 II スポーツ科学実習
兼任	講師	伊藤 常久 (47) ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		健康・運動科学実習 I
兼任	講師	犬塚 剛 (51) ＜令和2年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		スポーツ科学実習
兼任	講師	門間 陽樹 (35) ＜令和2年4月＞ 博士(障害科学)
		スポーツ科学実習

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	Simon Daniel Cooke (48) ＜令和2年4月＞ 修士(応用言語学)
		英会話B
兼任	准教授	本田 春彦 (41) ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		健康・運動科学実習 I 健康・運動科学実習 II スポーツ科学実習
兼任	講師	松原 悟 (62) ＜令和2年4月＞ 体育学士
		健康・運動科学実習 I 健康・運動科学実習 II
兼任	講師	河西 敏幸 (52) ＜令和3年4月＞ 博士(障害科学)
		スポーツ科学実習
兼任	講師	池田 晃一 (58) ＜令和2年4月＞ 体育学修士
		健康・運動科学実習 I 健康・運動科学実習 II スポーツ科学実習
兼任	講師	伊藤 常久 (48) ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		健康・運動科学実習 I
兼任	講師	犬塚 剛 (52) ＜令和3年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		スポーツ科学実習
兼任	講師	門間 陽樹 (36) ＜令和3年4月＞ 博士(障害科学)
		スポーツ科学実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森田(太田) 清美 (47) ＜令和3年4月＞ 修士(体育学)
		スポーツ科学実習
兼任	講師	黒澤 尚 (41) ＜令和2年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		スポーツ科学実習
兼任	講師	高野 淳司 (46) ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ スポーツ科学実習
兼任	講師	伊勢 只義 (33) ＜令和2年4月＞ 博士(教育情報学)
		健康・運動科学実習Ⅱ
兼任	講師	草野 修治 (49) ＜令和2年4月＞ 学士(体育学)
		スポーツ科学実習
兼任	講師	金野 麻衣 (41) ＜令和2年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		健康・運動科学実習Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森田(太田) 清美 (48) ＜令和3年4月＞ 修士(体育学)
		スポーツ科学実習
兼任	講師	黒澤 尚 (42) ＜令和3年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		スポーツ科学実習
<b>兼任</b>	<b>教授</b>	高野 淳司 (47) ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ スポーツ科学実習
<b>兼任</b>	<b>講師</b>	<b>土井 豊 (64) ＜令和2年4月＞ 体育学修士</b>
		<b>健康・運動科学実習Ⅱ</b>
兼任	講師	草野 修治 (50) ＜令和3年4月＞ 学士(体育学)
		スポーツ科学実習
兼任	講師	金野 麻衣 (42) ＜令和2年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		健康・運動科学実習Ⅰ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・よりきめ細やかな指導を行うため、また教育課程編成上の都合により、『数学基礎』の担当教員を齋藤章兼任講師1名から青山純兼任講師と竹内透兼任講師の2名に変更。
- ・よりきめ細やかな指導を行うため、『物理基礎』の担当教員に瀬谷和夫兼任講師を追加。
- ・よりきめ細やかな指導を行うため、『化学基礎』の担当教員に齋藤章兼任講師を追加。
- ・是常知美兼任講師の就任辞退に伴い、『生物基礎』の担当教員から削除。『生物基礎』は佐野哲也専任准教授が単独で行うこととした。
- ・『工業化学概論』の授業形態を単独からオムニバス方式に変更したため、丸尾容子教授、山田一裕教授、佐藤善之教授、内田美穂教授、加藤善大准教授、多田美香准教授、佐野哲也准教授の担当科目に追加。
- ・『環境応用化学セミナー』の担当教員を一部変更したため、野澤壽一助教の担当科目から削除。
- ・『表象文化論』および『東北文化史』の担当教員である河内聡子兼任講師を専任教員（総合教員センター講師）として採用したため、兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『現代メディア論』の担当教員を、河内聡子兼任講師から大木葉子兼任准教授に変更。
- ・嶋崎順子兼任講師の就任辞退に伴い、『ドイツの文化と言葉』の担当教員を松崎裕人兼任講師に変更。
- ・徐麗兼任講師の就任辞退に伴い、『中国の文化と言葉』の担当教員を佐藤祐李兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『英会話A』の担当教員を Craig MacDonald 兼任講師から Diego Dardon 兼任講師に変更。
- ・伊勢只義兼任講師の就任辞退に伴い、『健康・運動科学実習Ⅱ』の担当教員を土井豊兼任講師に変更。
- ・『健康・運動科学実習Ⅰ』『健康・運動科学実習Ⅱ』および『スポーツ科学実習』の担当教員である高野淳司兼任講師を専任教員（総合教員センター教授）として採用したため、兼任教授に変更。
- ・犬塚剛兼任講師の就任時期の記載に誤りがあったため、令和3年4月に修正。
- ・門間陽樹兼任講師の就任時期の記載に誤りがあったため、令和3年4月に修正。
- ・黒澤尚兼任講師の就任時期の記載に誤りがあったため、令和3年4月に修正。
- ・草野修治兼任講師の就任時期の記載に誤りがあったため、令和3年4月に修正。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。



(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	3	0	1	9	0	5	3	0	1	9	0
(5)	(3)	(0)	(1)	(9)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
5	3	0	1	9	0	5	3	0	1	9	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0	0

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{9} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」（該当なし）

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和元年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<工学部 環境応用化学科>

### (1) 設置計画変更事項等【該当なし】

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学的な組織として、「東北工業大学FD委員会」を設置している。</p> <p>また、FD委員会の中に「FD企画部会」を設置し、委員会での審議に付す原案作成等の議論を行っている。</p> <p>さらに必要に応じて特定課題についてのワーキンググループを設置するなど、集中的な議論も行っている。</p> <p>（「東北工業大学FD委員会規程」および「FD企画部会規程」は別添のとおり。）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和元年度はFD企画部会を年間4回開催し、全てその内容は持回りFD委員会あるいは代議員会と同時開催としたFD委員会の承認を得ている。</p> <p>なお、FD企画部会のメンバーは、副学長2名、学部長2名（内副学長兼務者1名）、共通教育センター長、各学部長およびセンター長が指名する教員若干名、大学事務局長、教務学生課長、長町校舎事務長、から構成（当て職名は令和元年度現在の規程による）されており、出席率は各回8割を超えていた。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>1) 第1回（令和元年5月29日）</p> <p>令和元年度の年間計画について、平成30年度大学評価アンケート結果について、等</p> <p>2) 第2回（令和元年7月2日）</p> <p>令和元年度前期の授業評価アンケート実施について、成績評価のガイドラインについて、PROGテストの体験実施並びに解説会の開催について、等</p> <p>3) 第3回（令和元年9月20日）</p> <p>令和元年度前期の授業評価アンケート結果およびそれに伴う授業改善計画書の提出依頼について、教員相互の授業参観について、FD研修会の実施について、等</p> <p>4) 第4回（令和元年12月26日）</p> <p>令和元年度教員表彰について、LMS利活用の推進について、FSD研修会の実施について、大学評価アンケートについて、FD委員会の今年度年間計画の進捗状況等について、等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>令和元年度は、下記のとおり計6回のFD（FSD）研修会を実施した。</p> <p>1) 新任教員説明会（講師：学長 他）</p> <p>2) 成績評価のガイドラインについて（講師：教務委員長）</p> <p>3) PROGテスト体験実施並びに解説会（講師：（株）リアセック担当者）</p> <p>4) 東北工業大学の安全保障輸出管理について（講師：研究支援センター事務長）</p> <p>5) シンポジウム『人工知能社会におけるできるビジネスパーソンの役割』（講師：慶応義塾大学教授 他）</p> <p>6) シンポジウム『教育の質保証について』（講師：大阪工業大学教授）</p> <p>また、これらの研修会の他に、令和元年度は特にLMSの利活用の推進に向けた取り組みや、例年実施している授業評価アンケートの実施や教員表彰等も行った。</p>
---

b 実施方法

上記 a に示したFD (FSD) 研修会については、それぞれ議題に即して講師による説明 (プレゼンテーション) を行った後、会場からの質疑応答の時間を設ける形で行った。中にはフリーディスカッションに近い形で活発な意見交換が行われた研修会もあり、全て今後の教育効果向上に資する内容とすることでできた。

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

上記 a に示したFD (FSD) 研修会については、下記により実施した。

- 1) 新任教員説明会 (講師: 学長 他)
  - ・日時等: 平成31年4月1日 (月) 14:00~15:00@八木山キャンパス1号館4階第1会議室
  - ・教員の参加状況: 対象者5名全員参加
- 2) 成績評価のガイドラインについて (講師: 教務委員長)
  - ・日時等: 令和元年7月12日 (金) 全学教授会終了後@八木山キャンパス1号館3階133教室
  - ・教員の参加状況: 108名参加
- 3) PROGテスト体験実施並びに解説会 (講師: (株) リアセック担当者)
  - ・日時等: 令和元年9月13日 (金) 14:00~16:00@八木山キャンパス1号館3階131教室
  - ・教員の参加状況: 63名参加 (他、職員52名参加)
- 4) 東北工業大学の安全保障輸出管理について (講師: 研究支援センター事務長)
  - ・日時等: 令和元年10月31日 (木) 16:40~17:30@八木山キャンパス1号館3階132教室
  - ・教員の参加状況: 47名参加 (他、職員25名参加)
- 5) シンポジウム『人工知能社会におけるできるビジネスパーソンの役割』 (講師: 慶応義塾大学教授 他)
  - ・日時等: 令和2年2月28日 (金) 14:00~17:00@長町キャンパス4号館2階R421教室
  - ・教員の参加状況: 30名参加 (他、学外者17名参加)
- 6) シンポジウム『教育の質保証について』 (講師: 大阪工業大学教授)
  - ・日時等: 令和2年3月25日 (水) 10:00~12:00@八木山キャンパス1号館3階133教室
  - ・教員の参加状況: 24名参加 (他、職員19名参加)

※ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う感染防止のため、講師は現地よりTV会議解説。  
また、同様の理由により、参加者を代議員等の役職者に限定して開催。その他の教員は後日LMS上にて受講してもらう形とした。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

PROGテストの導入やアセスメントポリシーの策定など、学修成果の可視化に向けた取り組みを加速させているところであり、これらの研修会を通じて得た他大学の先行事例なども参考にしながら、本学における教育の質保証に係る取り組みに着手しているところである。

また、LMSの利活用の推進を強化してきたところであるが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、遠隔授業の導入を余儀なくされたことで、まさに今、各教員がLMSの利活用により対面授業と同等の教育効果を得られる授業とするよう、様々な工夫・取り組みをしているところである。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施の有無 : 有
- ・実施の時期 : 前期・後期の各期間中 (年2回)

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果については、自由記述欄に対する教員からのコメントも含めて、本学のポータルサイトを通じて学生・教職員に公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項【該当なし】

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
東北工業大学工学部環境応用化学科は、「化学を基盤分野としながらも、化学反応プロセスや装置設計に関する工学的の基礎、さらにその応用として環境・エネルギー問題の評価や解決のための技術を体系的に教育する」ことを目的に、前身の工学部環境エネルギー学科を改組する形で設置された。  
令和2年度入試では、定員65名に対して志願者397名が集まり、結果、75名もの入学生を迎えることが出来た。一方で、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、入学式の中止や一部講義の遠隔授業への切り替えなど、予期せぬ船出となったが、上記目的の達成および設置計画の確実な履行のため、今後、教職員一丸となって教育・研究水準の維持・向上に努めていくこととする。

② 自己点検・評価報告書  
大学の自己点検・評価は、「東北工業大学の大学評価に関する規程」に基づき、これまでは3年周期で自己点検・評価を行ってきたが、加速する環境の変化に対応するため、また大学運営改善の迅速化を図るため、令和元年度より、毎年実施することとしている。令和2年度における自己点検・評価（令和元年度分）は、下記の予定で行う予定である。なお、工学部環境応用化学科は令和2年4月に開設されたばかりであり、現在のところ当該組織個別の自己点検・評価を行う予定はないが、大学全体の点検・評価の中でその内容を盛り込むこととする。

a 公表（予定）時期  
・令和2年11月1日 公表予定

b 公表方法  
・大学ホームページ上に公開予定（令和2年11月1日を予定）

③ 認証評価を受ける計画  
・令和2年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定。（申請済み）  
（前回受審年度：平成25年度（日本高等教育評価機構））

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ( ) ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。



## 東北工業大学FD委員会規程

(趣旨)

**第1条** この規程は、東北工業大学FD委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営等について定めるものとする。

(目的)

**第2条** 委員会は、東北工業大学（以下「本学」という。）におけるFD活動を組織的に行い、もって本学の諸活動を向上させることを目的とする。

(定義)

**第3条** この規程における「FD」とは、本学に所属する個々の教員が本学における種々の義務（教育・研究・学内活動・社会貢献等）を達成するために必要な専門的能力を維持し、改善するためのあらゆる方策や活動をいう。

(任務)

**第4条** 委員会は、次の各号に掲げる事項を任務とする。

- (1) FDの企画、立案に関すること
- (2) FDに関する提言及び指導・助言を行うこと
- (3) FDに関する調査、資料収集及び分析を行うこと
- (4) FDに関する講演会、研修会等を企画し、実施すること
- (5) その他FDに関すること

(組織)

**第5条** 委員会は、学長の指名する次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 副学長
- (2) 学部長
- (3) 総合教育センター長
- (4) 教務委員長
- (5) 情報サービスセンター長
- (6) 大学事務局長
- (7) その他必要と認める者

2 委員会は、必要に応じて、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

3 委員会は、FDに関する専門的事項を調査・検討するため、FD企画部会を置くことができる。FD企画部会に関する事項は、別に定める。

(委員の任期)

**第6条** 委員の任期は、2年とし、重任を妨げない。

2 委員に欠員が生じたときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長等)

**第7条** 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長は教育研究担当の副学長を、副委員長は将来構想・広報担当の副学長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。委員長に事故あるときは、副委員長がこれに当たる。

(会議)

**第8条** 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことはできない

(事務局)

**第9条** 委員会に関する事務は、教務学生課が行う。

### 附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成22年10月1日から改正施行する。

**附 則**

この規程は、平成23年4月1日から改正施行する。

**附 則**

この規程は、平成26年4月1日から改正施行する。

**附 則**

この規程は、平成27年4月1日から改正施行する。

**附 則**

この規程は、平成28年4月1日から改正施行する。

**附 則**

この規程は、令和2年4月1日から改正施行する。

## F D企画部会規程

(趣旨)

**第1条** この規程は、東北工業大学FD委員会規程第5条第3項に基づき、FD企画部会（以下「企画部会」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

(目的)

**第2条** 企画部会は、FDに関する基本方針と実施計画を策定し、FD委員会に提案する。

(構成)

**第3条** 企画部会は、FD委員長の指名する次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 副学長 1名
- (2) 教務委員会副委員長 1名
- (3) 情報サービスセンター副センター長
- (4) 教職員 2名
- (5) 大学事務局次長
- (6) 長町校舎事務長
- (7) その他委員長が必要と認める者

2 企画部会は必要に応じて企画部会委員以外の出席を求め、意見を聞くことができる。

(協議事項)

**第4条** 企画部会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 教育・研究に関するFD関連事項
- (2) 学内活動に関するFD関連事項
- (3) 社会貢献に関するFD関連事項
- (4) 学長からの要望事項及びその他FDに関して重要と認められる事項

(委員の任期)

**第5条** 企画部会委員（以下「委員」という。）の任期は、2年とする。ただし、重任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営)

**第6条** 企画部会に企画部会委員長（以下「委員長」という。）を置き、副学長をもって充てる。

2 委員長は、企画部会を招集し、その議長となる。委員長に事故あるときはあらかじめ委員長の指名する委員が代理する。

(推進部会)

**第7条** 企画部会の方針に従って具体的な施策を実行するため推進部会を置くことができる。

2 推進部会に関する事項は、別に定める。

(事務局)

**第8条** 企画部会に関する事務は、教務学生課が行う。

### 附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成26年4月1日から改正施行する。

### 附 則

この規程は、平成27年4月1日から改正施行する。

### 附 則

この規程は、令和2年4月1日から改正施行する。